

第◆章

「七科三十七道品」解説

修行法の分類	34
どのように修行するか？	35
七覚支法のシステム	46
念力をつよくしてバランスをたもつ	47
えらびとることが修行	50
修行が苦しいというやつは一人前になれない	63
喜びが自然に湧いてくる	75
名僧、圓悟禪師の教え	76
「英霊底の漢」とは	78

第◆章

阿含経の歴史と沿革

生涯の座右銘を得て	80
こころに微笑を持つ、癒 <sup>いや</sup> しの修行	88
瞑想と縁起観法	101
ストレートに智慧を獲得する五根法・五力法	103
すべてはアーガマからはじまる	106
まちがっている日本の仏教	112
勝手につくられた大乘仏教	119
大乘仏教の致命的欠陥	122
現身仏と法身仏	128
大乘経典はどうしてできたか	136
経典の運命	138
未曾有の宝を発見して	145

阿含經講義

仏陀思想の原初を探る——古くて新しい根本仏教……………148  
 日本に仏教は三度伝来した……………152

雑阿含經・応説經①成仏できない僧侶とは……………156

五蘊ごうんの瞑想法……………156

成仏法と伏鷄……………163

雑阿含經・応説經②世界を救う唯一の仏教……………168

三証そろった阿含宗……………168

法は天地を動かす——モンゴルの奇蹟……………172

「よし、雨を降らせよう！」……………175

「二十一世紀に向けての仏教の役割り」……………178

龍神りゅうじん乱舞……………182

「祈りの力がいかに偉大なものであるかを……………185

目のあたりに見て、心から驚嘆しました」……………188

自ら死地に立って法を動かす……………195

因縁の鎖を断ち切る成仏法……………199

世界を救う唯一の仏法……………203

雑阿含經・仙尼經①釈尊と六師外道……………203

仏教と業報思想……………208

希有講堂での議論……………214

六師外道(一)……………226

雑阿含經・仙尼經②三種類の宗教家……………226

六師外道(二)……………233

三種類の宗教家……………239

縁によって生じる……………242

雑阿含經・仙尼經③人間とは五蘊ごうん仮合けごうの存在……………242

聡明なものだけが理解できる真理……………242

我が世誰ぞ常ならむ……………	246
人間とは五蘊仮合の存在……………	253
雑阿含経・仙尼経④異陰 <sup>いおん</sup> とは靈魂のこと……………	258
成仏できない弟子と、成仏できる弟子……………	258
法眼浄を得る……………	265
異陰とは靈魂のこと……………	270
増一阿含経・三供養品①福德を身につけて成仏する下根の成仏法……………	275
成仏法が説かれた二つの阿含経……………	275
運と成功……………	277
涅槃界とは完全解脱の境地……………	288
増一阿含経・三供養品②死は苦の解決にならない……………	295
四苦八苦——人は苦のかたまり……………	295
末期 <sup>まご</sup> の境界が来世を決定する……………	302
増一阿含経・三供養品③福は徳から生じる……………	309
成仏とは輪廻を断ち切ること……………	309
世間福と出世間福……………	316
福は徳から生じる……………	321
増一阿含経・三供養品④生ける如来とは真正仏舍利のこと……………	327
如来の真義……………	327
生ける如来とは真正仏舍利のこと……………	335
真実の仏と偶像の仏……………	341
奇蹟を起こす「聖物」 <sup>せいぶつ</sup> ……………	345
バチカンを知っていた……………	349
真実の如来の所で <sup>みまど</sup> 功德を種 <sup>う</sup> える……………	352
如来のもつどのような <sup>みまど</sup> 功德を種 <sup>う</sup> えるか……………	354
中阿含経・七宝経①転輪王の七宝……………	359
転輪王とお釈迦さま……………	359
四門出遊縁起……………	367
中阿含経・七宝経②「七宝経」は、如来出現の予言経……………	374
如来の七宝……………	374

如来出現の予言経…………… 376

如来とは阿含宗のこと…………… 381

あとがき…………… 386